古河ロックドリル　　コンクリート大割圧砕具

適用範囲		型　式		Vx375
		質　量　kg		3685
		取付可能機体質量（単位ｔ）		29～38
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
旋回装置	旋回ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	30
		締付トルク	N・m	1800
			kg・m	184
		外輪ボルトサイズ	mm	30
		締付トルク	N・m	1800
			kg・m	184
油圧装置	シリンダー（図１、２参照）	開閉シリンダー		
		伸縮量	mm	80
		測定時間	分	3
圧砕・切断部	カッター（図３、４参照）	カッターの隙間Ｂ		
		基準値	mm	0
		許容限度	mm	1
	圧砕ポイント（図３参照）	圧砕ポイントC		
		基準値	mm	0
		許容限度	mm	56
		圧砕ポイントD		
		基準寸法	mm	－
		許容限度	mm	－

１．開閉シリンダー伸縮量の測定

①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。

②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜いて、Ａのストップバルブを閉じる。

③Ｌ寸法の測定を実施し、3分後に再度Ｌ寸法を測定し、その差を伸縮量とする

　または、シリンダーロッドとシリンダパッキンとの境界部に印を付けておき、3分後に印とシリンダパッキンの距離を測定して伸縮量とする。

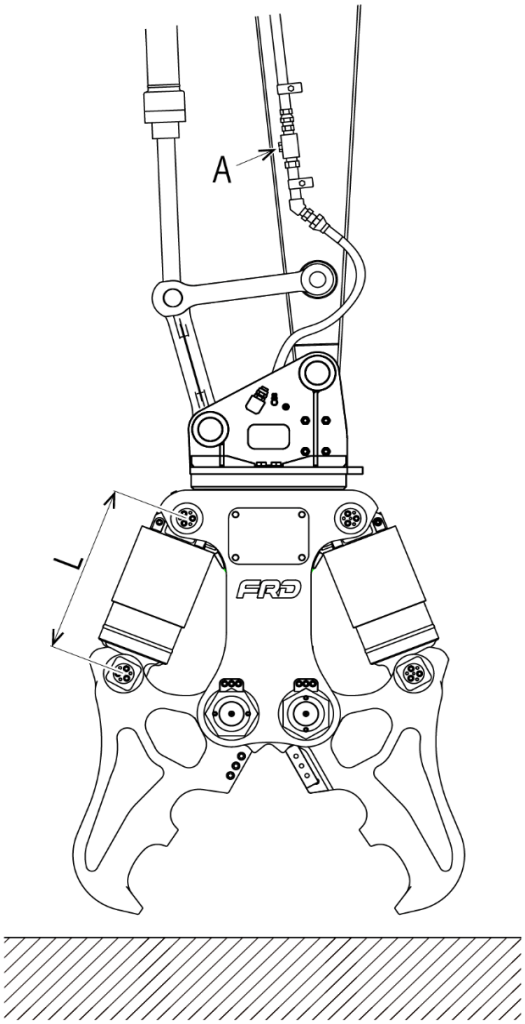


図１　開閉シリンダーの伸縮量測定

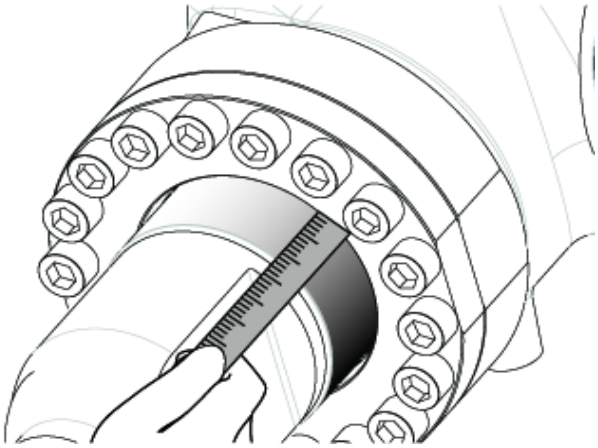
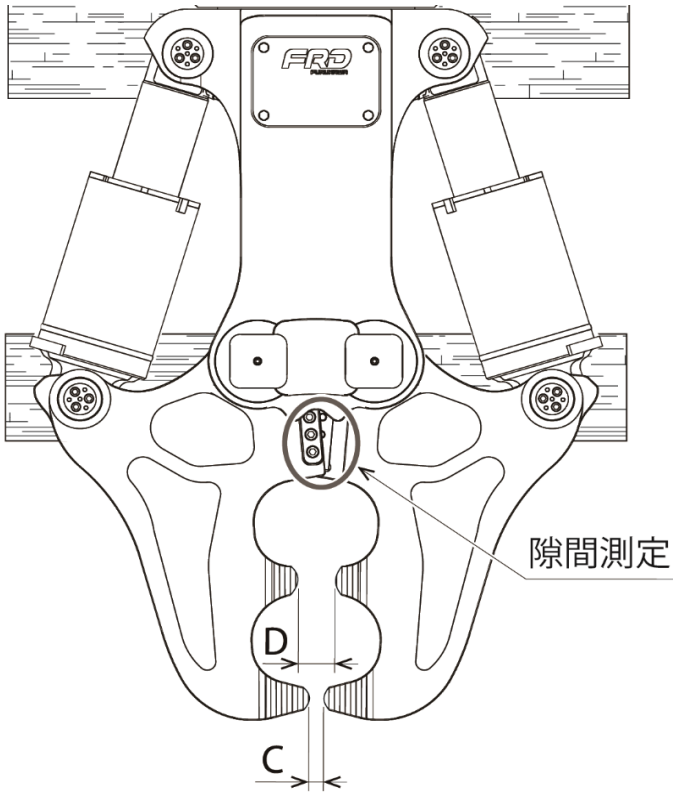


図２　シリンダーロッドの伸び量測定

２．カッターの隙間測定、圧砕ポイントの測定

①本体を水平に置きアーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。

②隙間ゲージによりカッターのすき間を測定する。



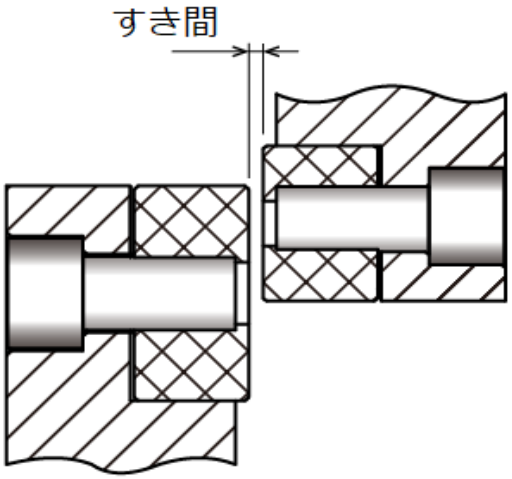


図４　カッターのすき間測定

図３　圧砕ポイントの測定（Vx35 Vx55 Vx75 Vx145 Vx235 Vx375 Vzシリーズ）

３．圧砕ポイントの測定(Vx135 Vx225 Vx365)

①先端突起部と中間突起部間の円弧および中間突起部とカッタベース間の円弧を結ぶ基準線を引く。

②基準線からの寸法C、Dを測定する。

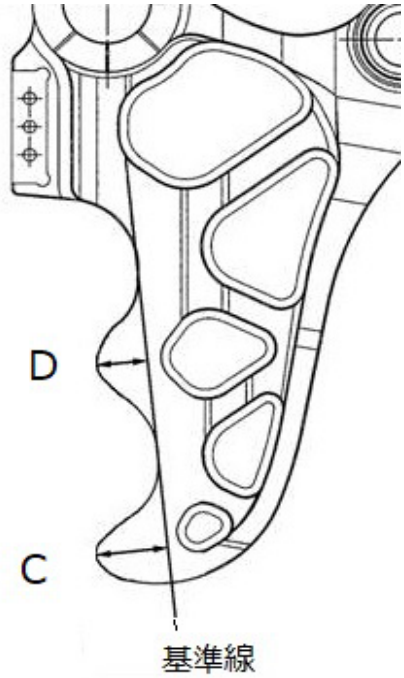


図５　圧砕ポイントの測定（Vx135 Vx225 Vx365）